

PI 研究室

1. はじめに

今後は、ますます政策立案過程における地域の参加のニーズが高まり、一方で公共事業を巡る紛争リスクへの対応が求められることでしょう。そこで、社会基盤整備の計画においては、市民参画型の計画プロセスの設計や実施支援のニーズが顕在化しつつあり、制度的な改革も必要な状況になってきています。

IBS のPI 研究室は、PI（パブリック・インボリューション）を取り入れた計画プロセスの設計とマネジメントのコンサルティングおよびPI の実施サポートを柱として、行政機関の市民参画の支援を行っています。

2. 主な研究活動

(1) 計画プロセスの設計とマネジメント

社会基盤整備の計画において、PI を取り入れた計画プロセスを設計し、マネジメントしています。計画プロセスについては、PI を取り入れて、効率的な計画策定が進められるような段階的なプロセスを設計しています。プロセスのマネジメントにおいては、プロセスを明示して共有化することで、円滑な議論ができるようなハンドリングに努めています。また、プロセスの円滑な進行のための体制構築を提案しています。これらのノウハウは、幅広い事業分野での適用が可能で、これまでに幹線道路、高速道路、河川整備、空港整備や橋梁の架け替えなどの個別事業や、都市圏のマスタープランやビジョン策定におけるPI 計画など多様な分野でのコンサルティングの経験を有しています。

(2) 多種多様なPI 手法の企画と実施支援

PI を取り入れた計画プロセスにおいては、特に「対話型コミュニケーション」の手法を重視して、計画の背景や状況に応じ、適切なPI 手法の選定・適用と実施を支援しています。具体的には、市民と行政の意見交換の場におけるファシリテーションの

導入、市民が気軽に行政スタッフと対話の機会を得ることのできるオープンハウス、課題の掘り起こしや目的の共有化のためのワークショップなどを企画、実施支援しています。また、集められた意見の計画への反映の仕方やノウハウも提供しています。

(3) PI の制度化支援

国レベルでは、PI の制度化に向けて、各種ガイドラインの策定が進んでいます。また、近年では市民との協働型政策づくりを方針として掲げる地方自治体が多くなってきています。こうしたPI のガイドラインや指針の策定も支援しています。

(4) 紛争解決手法の調査・研究

社会基盤整備においては、紛争予防のためのPI 導入のほか、紛争が起きたときの解決手法も司法制度改革の一環で着目されつつあります。そこで、米国で発展しているADR（メデイエーション等の裁判外の合意形成手法）の調査・研究に取り組んでいます。

(5) 計画体系に関する調査・研究

個別路線の道路の必要性や役割などは、上位の計画での位置づけと密接に関係しています。ただし、一口に上位計画といっても、広域、長期、ネットワーク、ビジョン、戦略、プログラムなど様々な側面を有した計画があります。こうした計画間のつながり＝計画体系やその制度設計の調査・研究に取り組んでいます。

3. 主な研究テーマ

(1) 計画プロセスの設計とマネジメント、PI 実施支援

- ・幹線道路におけるプロセス設計とPI 実施支援
- ・河川整備計画策定におけるプロセス設計とPI 実施支援
- ・河川改修計画策定におけるプロセス設計とPI 実施支援

- ・都市圏マスタープラン策定におけるプロセス設計とPI実施支援

(2) PIの制度化支援

- ・市民参画型計画プロセスのガイドライン策定
- ・諸外国の都市計画制度に関する調査
- ・道路事業の計画プロセスにおける環境評価のあり方に関する調査

(3) 紛争解決手法の調査・研究

- ・社会資本整備の合意形成円滑化のためのメデイエーション導入に関する研究
- ・社会資本整備における第三者の役割に関する研究

(4) 計画体系に関する調査・研究

- ・市民参画型道路計画体系の研究
- ・マスタープランのあり方の研究

4. これまでの出版物

- ・市民参画の道づくり パブリック・インボルブメント (PI) ハンドブック (ぎょうせい)
- ・合意形成論 総論賛成・各論反対のジレンマ (土木学会)
- ・欧米の道づくりとパブリック・インボルブメント～海外事例に学ぶ道づくりの合意形成～ (ぎょうせい)